

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	世界史B	3	3年12組

使用教科書	副教材
詳説 世界史B 改訂版 (山川出版社)	第一学習社 最新世界史図表 新版三訂 山川出版社 センター形式 世界史問題集 山川出版社 世界史B用語集 山川出版社 一問一答世界史

1. 学習の目標

古代から近現代までの世界の歴史の大きな枠組みと流れを、わが国の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に貢献できる日本人としての自覚と資質を養う。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
世界の様々な地域の文化や習慣を理解し、世界における日本人の地位に相応しい国際感覚を学ぶ。	各国の歴史が、世界の様々な地域に影響を与え、遠く、アジア・日本とも繋がっていることを多角的に考察する。	図版や地図を通して各地の世界遺産や、失われた過去の遺産を学び、今日の社会に残る文化の起源を実際の資料から理解する。	世界の歴史を理解する上で必要な知識を身につけ、その関連性を理解する。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第8章：近世ヨーロッパ世界の形成 ・ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成	オランダの覇権と英仏の台頭を中心に、17世紀の西欧について理解させる。 プロイセンの強国化やロシアの台頭の課程とその影響について、当時の国際関係をふまえて理解させる。	
	5	第9章：ヨーロッパ主権国家体制の展開 ・重商主義と啓蒙思想 ・ヨーロッパ諸国の海外進出 ・17～18世紀ヨーロッパ文化	海外植民地経営の活発化と主権国家体制の確立を理解する。 西欧諸国の近代化と、東欧の啓蒙専制国家の政策を理解する。 18世紀ヨーロッパ社会と文化を理解する。 英仏の覇権争いを整理させる。また、植民地や奴隷供給地とされた地域の状況にも注目させる。 科学革命の意義と近代社会に影響を与えた諸思想について理解させる。	
		第10章：近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 ・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン	産業革命の背景と影響について、世界経済的視野から考察させる。また、新たに発生した諸問題にも注目させる。 近代民主政治の出発点としてアメリカ独立の世界史的意義を理解させる。 フランス革命による国民国家の原則の確立を理解させる。	
6	第11章：欧米における近代国民国家の発展 ・ウィーン体制 ・ヨーロッパの再編 ・アメリカ合衆国の発展 ・19C欧米の文化	ナショナリズムの高揚や社会主義思想の出現という時代状況を認識させ、19世紀前半の革命運動の展開を整理させる。 イタリア・ドイツの統一、南北戦争など国民国家の発展を軸に、19世紀後半の欧米諸国の動向について理解させる。 ヨーロッパ諸国のアフリカ侵略や合衆国のカリブ海政策など、欧米列強による世界秩序形成の様相について理解させる。		
	6	第12章：アジア諸地域の動揺 ・オスマン帝国支配の動揺とアラブの目覚 ・南アジア・東南アジアの植民地化	イスラーム世界の改革運動について、西欧化、民族意識の高揚、イスラーム改革運動など諸側面を意識しながら理解させる。 ヨーロッパ列強による植民地化の拡大と社会の変化、各地での民族意識の高まりについて理解させる	

2	9	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジアの激動 	アヘン戦争から辛亥革命に至る経緯について、旧体制温存と変革、近代化と排外主義など対立要素を整理して把握させる。	授業態度・小テスト・定期試験を総合的に評価
		第13章：帝国主義とアジアの民族運動 <ul style="list-style-type: none"> ・帝国主義と列強展開 ・世界分割と列強対立 ・アジアの改革と民族運動 	欧米列強による世界秩序形成の様相について理解させる。19世紀以降のヨーロッパ各国の帝国主義的植民地政策が、弱体化したオスマン帝国支配下のバルカン半島で衝突する背景を理解させる。	
	10	問題演習	各時代・地域の出来事に関連させて入試問題を解く力を身につける	
	第14章：二つの世界大戦 <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ・アジア・アフリカの民族主義の進展 ・世界恐慌とファシズム諸国の侵略 ・第二次世界大戦 	背景としての国際的な対立関係の動向、総力戦としての大戦的な性格、大戦終結に至る経緯を把握させる。 ロシア革命の世界史的意義や、ヴェルサイユ・ワシントン両体制における国際協調の成果と限界について考察させる。 アジア・アフリカでの独立運動や国家形成の動きにおいて、国民国家の理念が果たした役割と問題点について考察させる 世界恐慌によって国際協調主義から自国中心主義にかわり、第二次世界大戦に至る対立状況が生まれたことを認識させる。 緒戦における枢軸国軍の勢力拡大と占領地における抵抗、連合国軍による反撃と終戦にいたる経緯について理解させる。		
		第15章：冷戦と第三世界成立	米ソ二極化による東西冷戦構造と、第三勢力の台頭を理解する。	授業態度・小テスト・定期試験を総合的に評価
		第16章：現在の世界	冷戦の解消過程と世界の多極化。第三世界の多元化や地域紛争など、現代社会が抱える問題について理解する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。